

(別添7)

事業所名 グループホーム小倉ゲンジョウ

2 目標達成計画

作成日: 平成 28年 1月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	理念に関して、職員の入れ替わりなどで職員同士での理念への理解の程度や解釈などが互いに十分にとれていない。	理念に関して、職員全員で共通した理解を持ちながら実践できるように取り組んでいく。	職場会議で、今いる職員で新しい理念を作り、理念に関しての解釈を確認しながら、職員全体での共通理解を深めたうえで、自分たちで作った理念が実践できるように取り組む。	4ヶ月
2	4	もっと、地域に開かれた事業所にしていくためには、運営推進会議の参加メンバーを増やす必要がある。	新たに、消防団の方や婦人会の方等を参加メンバーに加え運営推進会議で、事業所の活動や地域での役割の理解を深めて頂く。また、参加メンバーが増えることにより、多様な意見がでて、その意見から、事業所のサービス向上に繋がることが期待できる。	自治会長へ事情説明と相談をし、消防団長や婦人会の会長へ参加についての依頼や調整を行ってもらう。 また、こちらからも挨拶に出向き事情説明と依頼をお願いする。	6ヶ月
3	13	認知症ケアの経験年数が3年未満の職員が過半数を占めるため、認知症に関しての知識や認知症の人の気持ちの理解など、各職員でバラつきがある。	認知症の基本的な知識を深め、認知症の人の気持ちの理解を職員全体で深めて行く。	知識を深めるための職場内研修を行う。どこまで知識が身に付いたかテストを行い各職員の力量を知り、その力量に合わせながら、適宜OJTを行い知識を深めていく。 また、認知症の人の気持ちを理解するために、認知症の方の気持ちを職員が疑似体験できる研修を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。